

**2020年3月期  
第1四半期  
決算補足説明資料**

**2019年8月9日**

(証券コード6381 東証1部 機械)



Think Globally  
Act Locally

	2020年3月期1Q		2019年3月期1Q		前年同期対比			2019年5月10日に発表した 予想値対比	
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増加額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化 (P)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	8,672	—	8,523	—	149	1.8%	—	40,000	21.7%
営業利益	728	8.4%	914	10.7%	-185	-20.3%	△2.3	4,400	16.5%
経常利益	838	9.7%	985	11.6%	-147	-14.9%	△1.9	4,800	17.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	530	6.1%	641	7.5%	-111	-17.3%	△1.4	(通期) 3,100	17.1%
平均為替レート 円/\$	110.20	(実績)	110.43	(実績)	0.23 円/\$の円高			(%) (P) は少数点以下 第2位を四捨五入	
平均為替レート 円/€	125.15	(実績)	130.42	(実績)	5.27 円/€の円高				

・売上高は1.8%増収  
 ・営業利益は20.3%減益  
 ・経常利益は14.9%減益  
 ・当期純利益は17.3%減益  
**●増収・減益となりました。**

# 2020年3月期1Q 連結業績 損益計算書

	2020年3月期1Q		2019年3月期1Q		前年同期対比			2019年5月10日に発表した 予想値対比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増加額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率 変化 (P)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)	
<b>売上高</b>	<b>8,672</b>	<b>—</b>	<b>8,523</b>	<b>—</b>	<b>149</b>	<b>1.8%</b>	<b>—</b>	<b>40,000</b>	<b>21.7%</b>	①
売上原価	4,700	54.2%	4,628	54.3%	72	1.6%	△0.1			②
売上総利益	3,971	45.8%	3,894	45.7%	77	2.0%	0.1			③
販管費	3,243	37.4%	2,979	35.0%	263	8.8%	2.4			③
<b>営業利益</b>	<b>728</b>	<b>8.4%</b>	<b>914</b>	<b>10.7%</b>	<b>-185</b>	<b>-20.3%</b>	<b>△2.3</b>	<b>4,400</b>	<b>16.5%</b>	④
営業外収益	191	2.2%	159	1.9%	31	19.8%	0.3			④
営業外費用	82	0.9%	89	1.0%	-7	-7.9%	△0.1			④
<b>経常利益</b>	<b>838</b>	<b>9.7%</b>	<b>985</b>	<b>11.6%</b>	<b>-147</b>	<b>-14.9%</b>	<b>△1.9</b>	<b>4,800</b>	<b>17.5%</b>	
特別利益	2	0.0%	4	0.0%	-1	-30.4%	0.0			
特別損失	25	0.3%	34	0.4%	-9	-27.3%	△0.1			
<b>税金等調整前純利益</b>	<b>815</b>	<b>9.4%</b>	<b>954</b>	<b>11.2%</b>	<b>-139</b>	<b>-14.6%</b>	<b>△1.8</b>			
法人税等	221	2.5%	271	3.2%	-50	-18.4%	△0.6			
非支配株主に帰属する 当期純利益	64	0.7%	42	0.5%	22	51.9%	0.2			
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>530</b>	<b>6.1%</b>	<b>641</b>	<b>7.5%</b>	<b>-111</b>	<b>-17.3%</b>	<b>△1.4</b>	(通期) <b>3,100</b>	<b>17.1%</b>	
平均為替レート 円/\$	110.20	(実績)	110.43	(実績)	0.23	円/\$の円高		(%) (P)は		
平均為替レート 円/€	125.15	(実績)	130.42	(実績)	5.27	円/€の円高		少数点以下第2位を四捨五入		

①売上高：前年同期比+149百万円増 前期までに連結子会社化したイタリアの子会社および台湾のANEST IWATA SPARMAX社による影響額は+204百万円。為替影響額 -195百万円。

②原 価：前年同期比原価率は0.1P減少。

③販売管理費：前年同期比+263百万円増加（販管費率+2.4P） 上記①の新規連結2社分としては+96百万円。

④営業外収益／費用：持分法による投資利益の増加+20百万円、前年同期比為替差損8百万円減少(8百万円の利益増加)。

単位：百万円

		2018年3月期実績		2019年3月期実績		2020年3月期予想値	
		実績	構成比	実績	構成比	目標額	構成比
<b>売上高</b>		32,817	100.0%	38,807	100.0%	<b>40,000</b>	<b>100.0%</b>
内訳	圧縮機	16,283	49.6%	21,212	54.7%	—	—
	真空機器	1,850	5.6%	1,841	4.7%	—	—
	エアエナジー事業部	18,133	55.3%	23,053	59.4%	<b>23,500</b>	<b>58.7%</b>
	塗装機器	12,073	36.8%	13,107	33.8%	—	—
	塗装設備	2,609	8.0%	2,645	6.8%	—	—
	コーティング事業部	14,682	44.7%	15,752	40.6%	<b>16,500</b>	<b>41.3%</b>
<b>営業利益</b>		3,824	11.7%	4,339	11.2%	<b>4,400</b>	<b>11.0%</b>
<b>経常利益</b>		4,352	13.3%	4,701	12.1%	<b>4,800</b>	<b>12.0%</b>
<b>当期純利益</b>		2,809	8.6%	2,947	7.6%	<b>3,100</b>	<b>7.8%</b>
為替レート ¥/\$		112.19	(実績)	110.43	(実績)	105.00	(想定)
為替レート ¥/€		126.67	(実績)	130.42	(実績)	120.00	(想定)

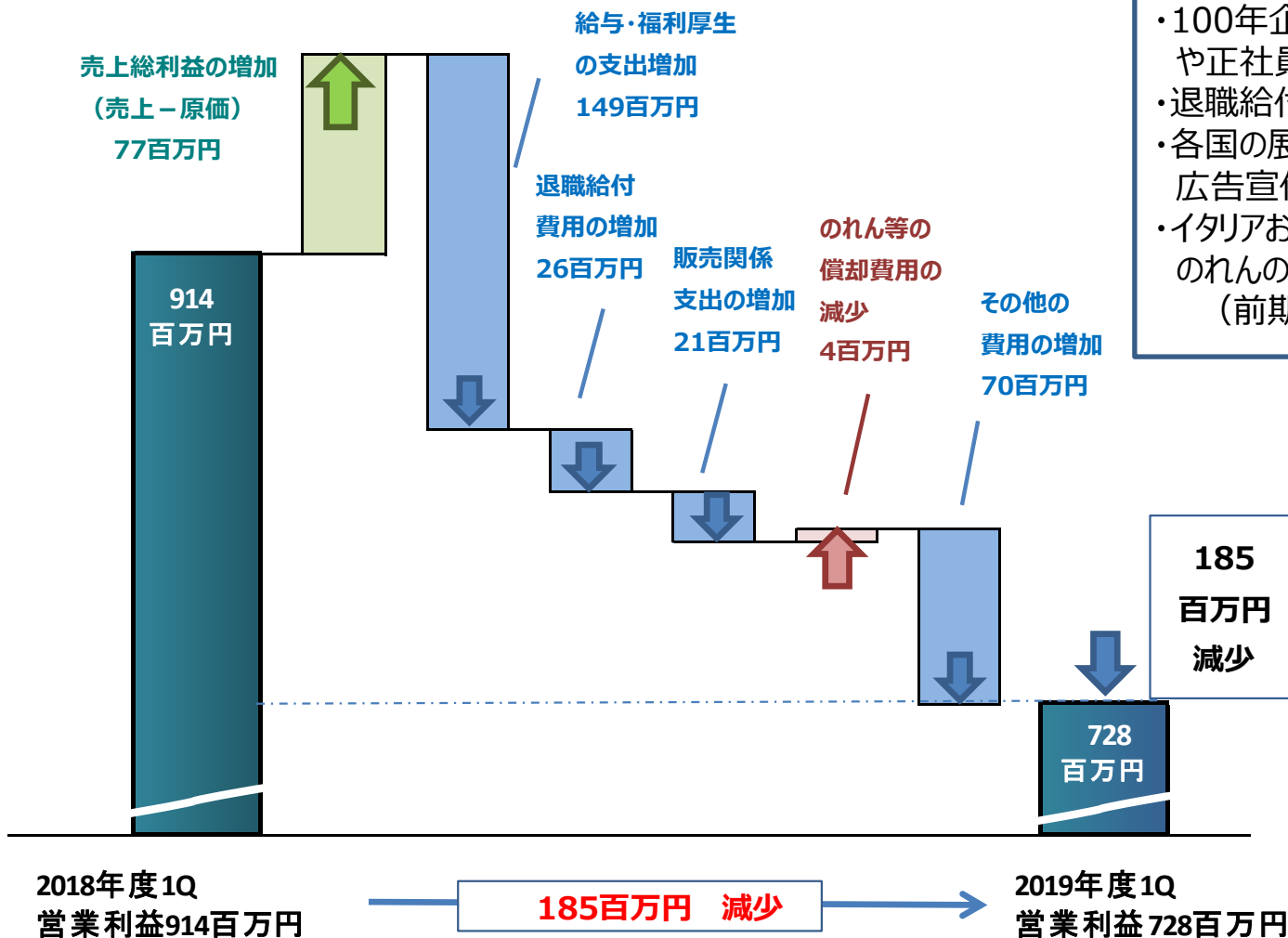
※配当について：2019年3月期期末配当は6月25日の第73期定時株主総会で正式に決定する予定です。2020年3月期は予想値です。

<b>配当</b> 中間期+期末=年間	10円+10円=20円	11円+11円=22円	12円+12円=24円
---------------------	-------------	-------------	-------------

# 2020年3月期1Q 連結業績

## 営業利益の変動要因

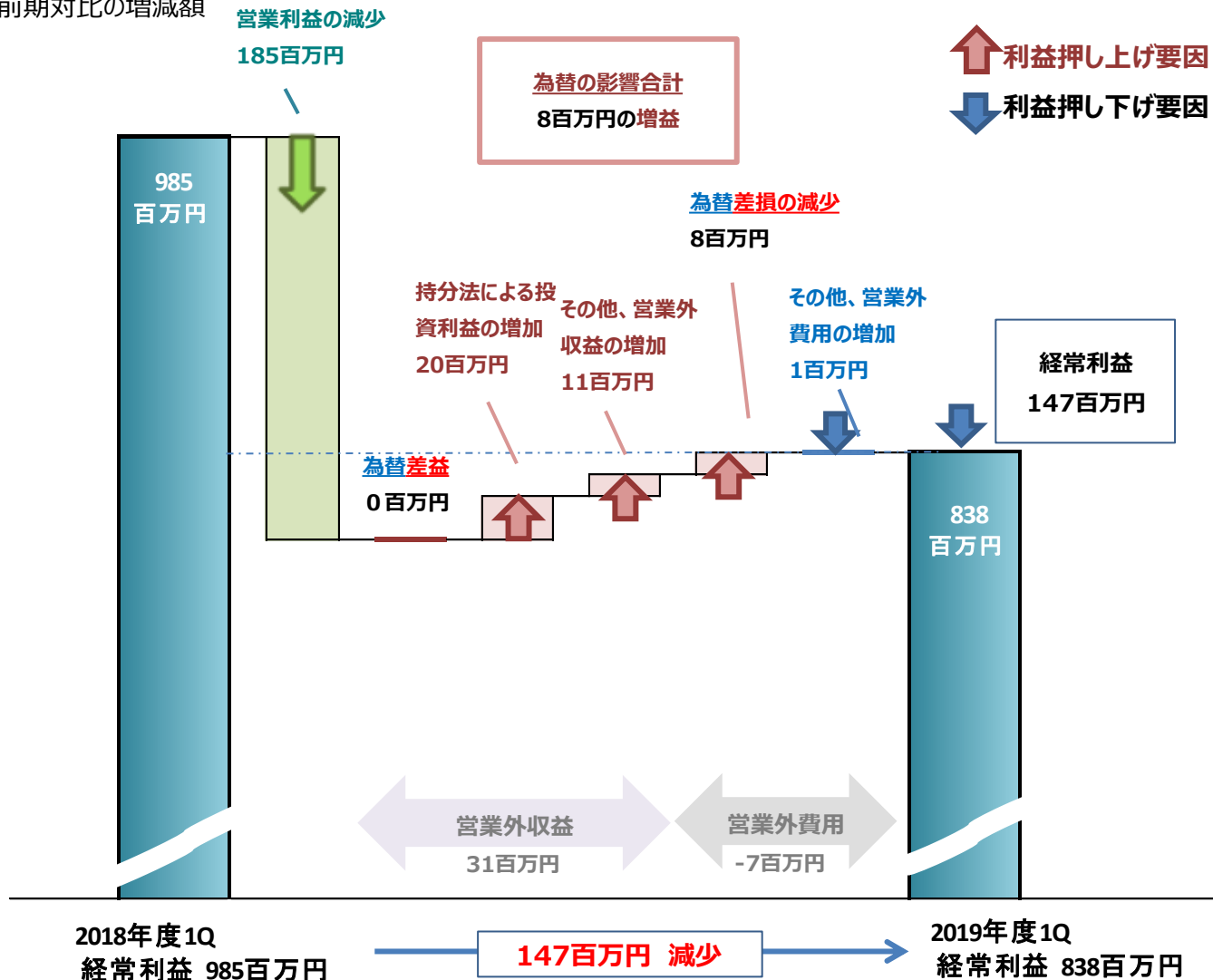
記載している数値は、前期対比の増減額



- ・売上高の影響による粗利額の増加
- ・100年企業に向けた人財採用や正社員化などによるコスト増加
- ・退職給付費用の増加
- ・各国の展示会出展などによる広告宣伝費等の増加
- ・イタリアおよび台湾の連結子会社化のれんの償却額70百万円 (前期比+11百万円)

# 2020年3月期1Q 連結業績 経常利益の変動要因

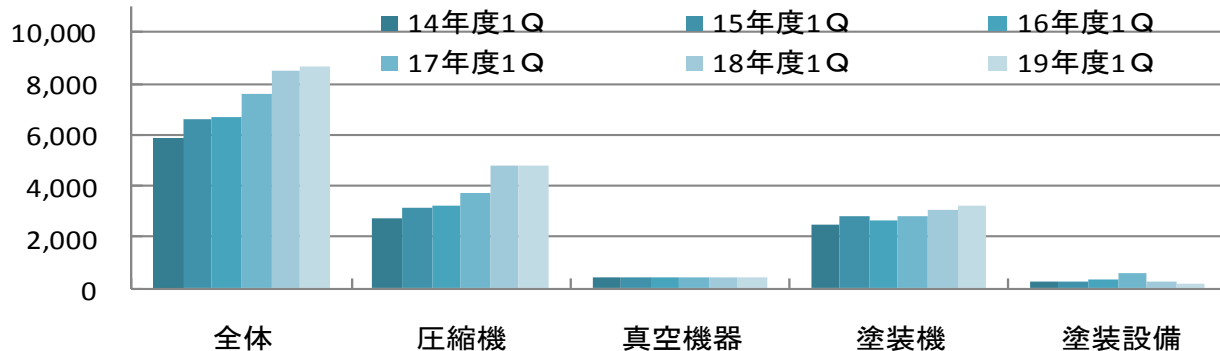
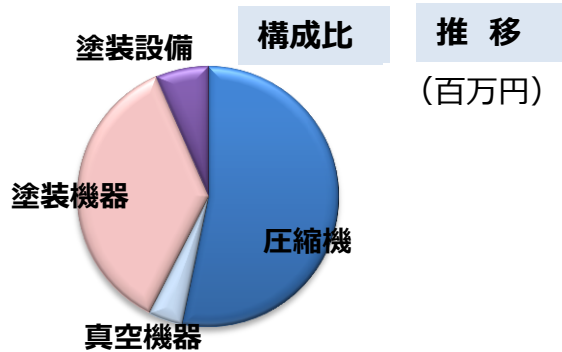
記載している数値は、前期対比の増減額



# 2020年3月期1Q 連結業績

## 売上高 製品別

		2020年3月期1Q		2019年3月期1Q		前期対比	増減
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
エアエナジー 事業	圧縮機	4,824	55.6%	4,813	56.5%	11	0.2%
	真空機器	383	4.4%	419	4.9%	-35	-8.5%
小計		5,207	60.0%	5,232	61.4%	-24	-0.5%
コーティング 事業	塗装機器	3,256	37.6%	3,069	36.0%	186	6.1%
	塗装設備	207	6.8%	220	2.6%	-13	-6.0%
小計		3,463	39.9%	3,289	38.6%	173	5.3%
合計		8,672	100.0%	8,523	100.0%	149	1.7%



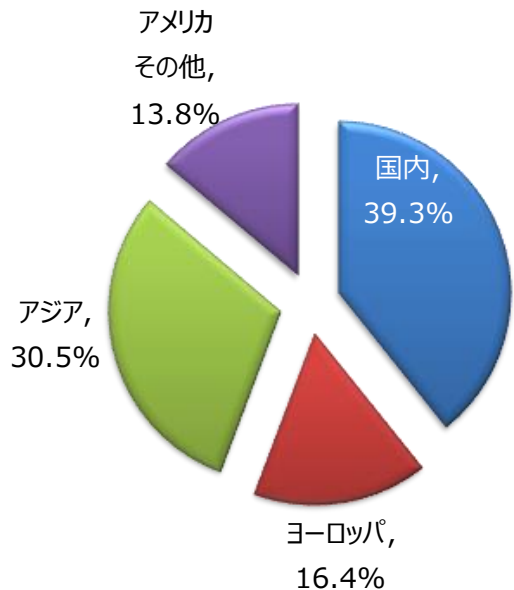
### エアエナジー事業

- ・圧縮機：前期に連結子会社化した台湾のANEST IWATA SPARMAX社実績にて増加。
- ・真空機器：アメリカの実績は回復傾向も、前期より継続しているヨーロッパに加えて日本で減少。

### コーティング事業

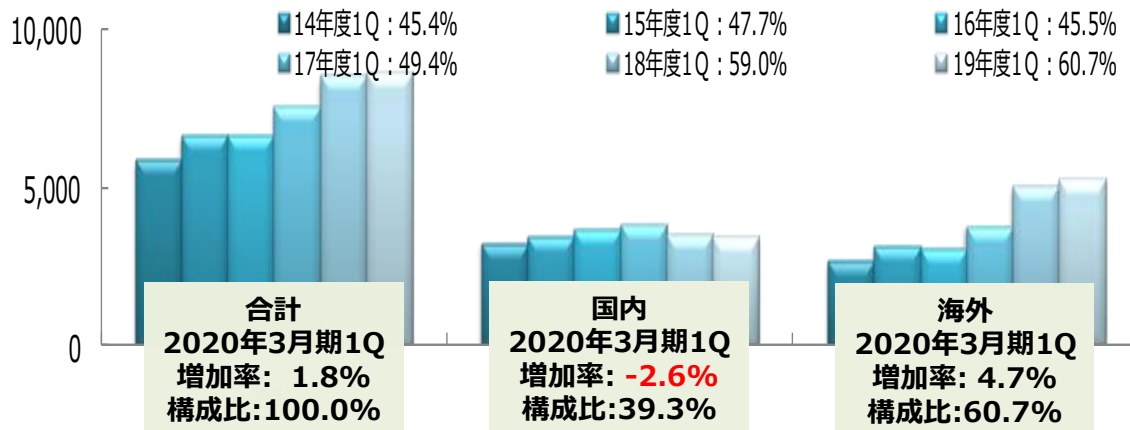
- ・塗装機器：ヨーロッパ、アメリカ、日本を主に全エリアで増加。
- ・塗装設備：アジアを主に伸長も、日本で売上まで至らず前期比で減少。

## 売上高の地域別構成比



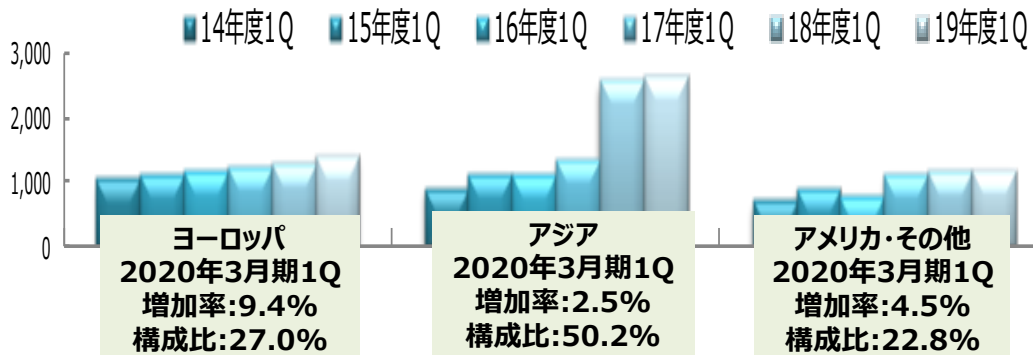
## ● 国内と海外の売上高推移

(百万円)



## ● 海外の売上高推移 (合計を100とする)

(百万円)



- \* 海外の売上高比率は、前年比で1.7P増加
- \* 日本は、塗装機器以外が減少し、前期比でマイナス。
- \* 海外は、アジアでの連結影響が縮小

※納入地ベースでの実績換算をしています。



# 2020年3月期1Q 連結業績 売上高 製品/地域別の増減

	全体	エアナジ事業		コーティング事業	
		圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備
日本	-2.6%	▼	X	○	X
ヨーロッパ	9.4%	○	X	○	-
アジア	2.5%	▼	◎	○	◎
北米その他	4.5%	△	◎	○	◎
海外計	4.7%	△	△	○	◎
計	1.8%	0.2%	-8.5%	6.1%	-6.0%

凡例

◎10%~

△0%~3%

○3%~10%

▼-0%~-3%

●-3%~-10%

X-10%~

- ・日本では、前期末の反動による圧縮機が減少。また半導体製造を主とする検査装置向け需要の減少などから真空機器が減少。塗装設備は期中での売上に至らず減少。
- ・ヨーロッパでは、前期に続き、当社OEM先の需要減少により、真空機器が減少。
- ・アジアでは、圧縮機において台湾の連結子会社による増加があった一方で、中国を主として減少。
- ・北米その他では、真空機器の復調やメキシコにおける塗装設備実績などにより増加。

※納入地ベースでの実績換算をしています。

(百万円)	2020年3月期1Q	2019年3月期1Q	増減金額	前年同時期比
日本	3,405	3,495	-89	-2.6%
ヨーロッパ	1,422	1,300	121	9.4%
アジア	2,644	2,579	65	2.5%
北米その他	1,200	1,148	51	4.5%
合計	8,672	8,523	149	1.8%

(百万円)

	設備投資額 売上対比	減価償却 売上対比	研究開発費 売上対比	売上高
2018年3月期  (実績)	2,458 7.5% (計画値 2,500) 実行率 98.3% ・各種工作機械、自動化設備等 ・製品開発 ・秋田、福島工場食堂リニューアル、 コミュニケーションラウンジ ・本社技術開発研究施設	1,238 3.8% (計画値 1,200)  103.2%	1,078 3.3% (計画値 1,200) 実行率 89.8%  ・継続投資	32,817
2019年3月期  (実績)	2,080 5.4% (計画値 2,500) 実行率 83.2% ・各種工作機械、自動化設備等 ・製品開発 ・秋田、福島工場食堂リニューアル、 コミュニケーションラウンジ ・本社技術開発研究施設	1,618 4.2% (計画値 1,400)  115.6%	1,154 3.0% (計画値 1,200) 実行率 96.2%  ・継続投資	38,807
2020年3月期  (1Q実績)	計画 2,500 6.3%  (396) 実行率 15.8%	計画 1,800 4.5%  (357) 19.8%	計画 1,200 3.0%  ・継続投資  (271) 実行率 22.6%	40,000  計画

注) 研究開発費は、研究開発に係る一般管理費と製造経費の合計です。

## 将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。